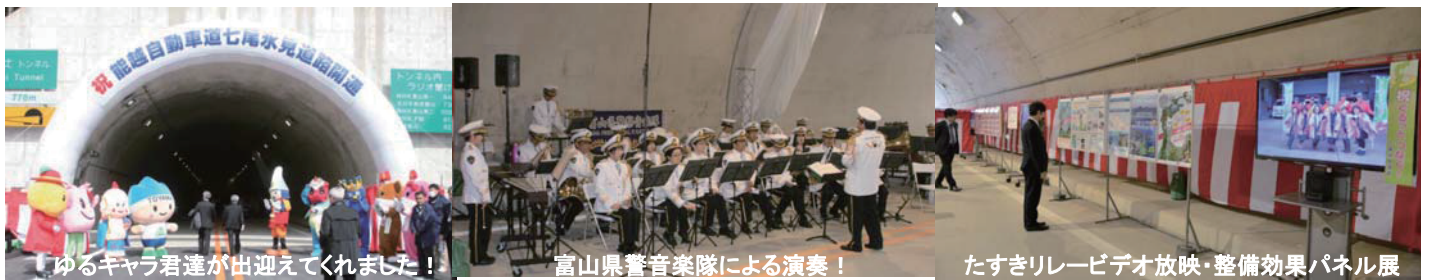


能越道七尾氷見道路 全線開通！！

2月28日(土)、七尾氷見道路の富山県内区間が全線開通し、石川県とつながりました。

氷見市側式典会場となった宇奈比トンネルでは、佐南谷国交省大臣官房房審議官の式辞、石井富山県知事の挨拶、橋衆院議員、野上参院議員、堂故参院議員、柴田参院議員、高平富山県議会議長が祝辞、本川氷見市長が謝辞を述べられました。

会場内では、富山県警音楽隊による演奏や能越道期成同盟会が企画した「みんなの思いをつなぐたすきリレー」のビデオ放映や七尾氷見道路整備効果パネル展が開催され、開通ムードが高まっておりました。



式典の中で、たすきリレー最終ランナー3名が紹介されました。

(加越能バス株式会社 山下 敏広様、灘浦小学校6年 浦 希旺 君、ひみ凰の会 佐伯 三美子 様がステージ上で紹介されました)

最後のテープカット・久寿玉開披では、地元氷見市中波地区から獅子舞がお祝いに駆けつけ演舞にて華を添えていただきました。



その後、石川県境に向かって開通パレードを行なった後、県境セレモニーでは、双方の最終ランナー3名がたすきを交換。風船約400個が同時に飛ばされ、拍手が沸き起こりました。

富山・石川両県知事や高岡市長・氷見市長・七尾市長をはじめ多くの関係者が参加し、全員で記念撮影後、県境での車両パレードを行い、全線開通を皆でお祝いしました。

